

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3931049号
(P3931049)

(45) 発行日 平成19年6月13日(2007.6.13)

(24) 登録日 平成19年3月16日(2007.3.16)

(51) Int. Cl.

A63F 7/02 (2006.01)

F I

A63F 7/02 320

請求項の数 1 (全 6 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2001-136543 (P2001-136543)</p> <p>(22) 出願日 平成13年5月7日(2001.5.7)</p> <p>(65) 公開番号 特開2002-325911 (P2002-325911A)</p> <p>(43) 公開日 平成14年11月12日(2002.11.12)</p> <p>審査請求日 平成14年11月26日(2002.11.26)</p>	<p>(73) 特許権者 000161806 京楽産業. 株式会社 愛知県名古屋市中区錦三丁目24番4号</p> <p>(74) 代理人 100112531 弁理士 伊藤 浩二</p> <p>(72) 発明者 榎本 宏 愛知県名古屋市中川区尾頭橋三丁目20番 8号 京楽産業株式会社内</p> <p>審査官 小林 俊久</p> <p>(56) 参考文献 特開2001-087488 (JP, A) 特開平09-276498 (JP, A)</p> <p style="text-align: right;">最終頁に続く</p>
---	--

(54) 【発明の名称】 パチンコ遊技機

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件が成立することにより大当たり決定用乱数を取得しその取得乱数が予め定められた大当たり数値であるかどうかを判定する大当たり抽選用カウンタと、始動条件が成立することにより揃い図柄決定用乱数を取得しその取得乱数に従って揃い図柄を用意する揃い図柄決定用カウンタと、始動条件が成立することにより不揃い図柄決定用乱数を取得しその取得乱数に従って不揃い図柄を用意する不揃い図柄決定用カウンタと、図柄停止パターン決定手段が制御基板に構成され、前記大当たり抽選用カウンタにより取得された大当たり決定用乱数が大当たり数値でなかった場合は前記不揃い図柄決定用カウンタにより用意された不揃い図柄を図柄変動表示器に停止図柄として確定表示し、前記大当たり抽選用カウンタにより取得された大当たり決定用乱数が大当たり数値であった場合は前記図柄停止パターン決定手段による抽選によって前記揃い図柄決定用カウンタにより用意された揃い図柄または前記不揃い図柄決定用カウンタにより用意された不揃い図柄のいずれかを図柄変動表示器に停止図柄として確定表示し、かつ該図柄変動表示器に不揃い図柄を確定表示した場合でも大当たりを発生させ可変入賞装置を継続的に開成状態とすることを特徴としたパチンコ遊技機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、遊技盤に設けられた液晶表示器等の図柄変動表示器に数字、記号等の複数の図

柄を変動表示させる複数の表示列が設けられ、大当たりが発生すると可変入賞装置を継続的に開成状態とし打球を入賞し易くするように構成されたパチンコ遊技機に関するものである。

【 0 0 0 2 】

【 従来 の 技術 】

遊技盤面にカラー液晶表示器、CRT等の図柄変動表示器が設けられ、遊技者の打った打球がチューリップ型の始動口に入ることによって始動条件が成立すると、該図柄変動表示器に1～8の数字および等の記号またはキャラクター等の図柄が夫々上下または左右に流れる如くに複数の表示列(通常は3列)にて変動表示され、その変動表示はまもなく停止し、その停止図柄が所定の確率(1/300程度)で偶然性をもって例えば「222」、
「777」、
」のように各列とも同じ図柄となった場合に大当たりとなり、可変入賞装置(大入賞口)の開閉扉がソレノイドの作動により継続的に開成状態となり、打球を非常に入賞し易くすることで多数の景品球を獲得できて遊技者に多くの利益がもたらされるように構成されたパチンコ遊技機は周知の通りである。

10

【 0 0 0 3 】

また、上記図柄変動表示器の変動表示は、通常は左列、右列、中列の順に時間差をもって停止し、左列と右列の停止図柄が同一になった場合(一般に「リーチ」と称されている)は、中列も同一に揃うという期待感が高められることから、その消長に遊技者の関心が持たれるものであった。またこうしたリーチ時に、画面をフラッシュさせたり、図柄変動表示器に何らかのサインやキャラクターを登場させたりするなど、いろいろな表示態様を採
ることによって、遊技者の大当たり発生に対する期待感を大きくさせ、遊技者を楽しませている。

20

【 0 0 0 4 】

【 発明 が 解決 し よ う と す る 課 題 】

ところで従来の上記パチンコ遊技機では、左列と右列の停止図柄が同一とならなかった場合でも中列の図柄変動が停止するまでは始動条件が成立していても次の変動表示が開始されなかったため、このため大当たりとなる可能性が全くないにも拘わらず中列が停止するまで待たなければならず無意味な時間を採らせるものであった。言い換えればそのような無駄時間があることで、遊技のテンポが緩慢になり、遊技者をエキサイトさせることの障害となるものであった。

30

【 0 0 0 5 】

また従来の上記パチンコ遊技機は、遊技者をして停止図柄が各表示列とも同一となることのみを期待させるものであったので、マンネリ化する傾向があった。

【 0 0 0 6 】

そこで本発明は、上記のような無駄時間をなくすとともに、マンネリ化を排除し、パチンコ遊技を一層興味あるものにしようとするものである。

【 0 0 0 7 】

【 課 題 を 解 決 す る た め の 手 段 】

そのために本発明は、始動条件が成立することにより大当たり決定用乱数を取得しその取得乱数が予め定められた大当たり数値であるかどうかを判定する大当たり抽選用カウンタと、始動条件が成立することにより揃い図柄決定用乱数を取得しその取得乱数に従って揃い図柄を用意する揃い図柄決定用カウンタと、始動条件が成立することにより不揃い図柄決定用乱数を取得しその取得乱数に従って不揃い図柄を用意する不揃い図柄決定用カウンタと、図柄停止パターン決定手段が制御基板に構成され、前記大当たり抽選用カウンタにより取得された大当たり決定用乱数が大当たり数値でなかった場合は前記不揃い図柄決定用カウンタにより用意された不揃い図柄を図柄変動表示器に停止図柄として確定表示し、前記大当たり抽選用カウンタにより取得された大当たり決定用乱数が大当たり数値であった場合は前記図柄停止パターン決定手段による抽選によって前記揃い図柄決定用カウンタにより用意された揃い図柄または前記不揃い図柄決定用カウンタにより用意された不揃い図柄のいずれかを図柄変動表示器に停止図柄として確定表示し、かつ該図柄変動表示器

40

50

に不揃い図柄を確定表示した場合でも大当たりを発生させ可変入賞装置を継続的に開成状態とすることを特徴とする。

【0008】

【発明の実施の形態】

次に発明の実施形態を図面に従い説明する。図1にこのパチンコ遊技機における遊技盤の正面を示す。図中、2はこの遊技盤1上に設けられたカラー液晶表示器からなる図柄変動表示器、3は普通入賞口、4は通過ゲート、5はソレノイドにより一对の羽根6が開閉動し得るように設けられたチューリップ型の始動口である。7は該始動口5の下方に設けられた大きな長方形の大入賞口からなる可変入賞装置で、該可変入賞装置7にはソレノイドの作動により開閉動する開閉扉8が設けられ、該可変入賞装置7内には継続入賞口9が設けられている。なお、10は図柄変動表示器2が変動表示中に始動口5に打球が入賞した場合にその個数を記憶し始動を保留するために設けた4つの保留表示ランプ、11は通過ゲート4を打球が通過することにより変動開始する普通図柄変動表示器（7セグメントデジタル表示装置）、12は該普通図柄変動表示器11が変動表示中に通過ゲート4に打球が通った場合にその個数を記憶し変動表示を保留するために設けられた4つの保留表示ランプ、13は装飾ランプである。

10

【0009】

図2はCPU、ROM、RAM、I/Oからなる制御基板15に接続される本発明に関連する入出力機器を示したブロック図で、20は通過ゲート4を通過した打球を検出する通過検出スイッチ、21は始動口5に入賞した打球を検出する始動スイッチ、22は前記可変入賞装置7への入賞球を計数するカウントスイッチ、23は前記継続入賞口9への入賞球を検出する特定領域スイッチであり、該遊技制御基板にはさらに前記図柄変動表示器2と、保留表示ランプ10と、普通図柄変動表示器11と、保留表示ランプ12と、装飾ランプ13と、可変入賞装置7のソレノイド24と、始動口5の羽根6を開閉動させるソレノイド25が接続されている。

20

【0010】

また、図3は上記制御基板15によって構成される信号処理手段を機能毎に表示したブロック図である。同図に示すようにこれによってこのパチンコ遊技機では、大当たり抽選用カウンタ100と、揃い図柄決定用カウンタ101と、不揃い図柄決定用カウンタ102と、図柄停止パターン決定手段103が構成される。大当たり抽選用カウンタ100は、始動スイッチ21が打球を検出したときに0～630の631種類の数値のうちの一つを大当たり決定用乱数として取得しその取得乱数が予め定められた例えば「136」または「451」であるかどうかを判定し、そうであった場合には大当たりフラグをセットするものである。また、揃い図柄決定用カウンタ101は、同じく始動スイッチ21が打球を検出したときに0～11の12種類の数値のうちの一つを揃い図柄決定用乱数として取得するものである。また、不揃い図柄決定用カウンタ102は、図柄変動表示器2の左列、中列、右列の各表示列について同じく始動スイッチ21が打球を検出したときに0～11の12種類の数値のうちの一つを不揃い図柄決定用乱数として取得するものである。

30

【0011】

次に本発明の作動を図4のフローチャートに従い説明する。ステップaにて始動スイッチ21による打球検出があると、ステップbにて大当たり抽選用カウンタ100、揃い図柄決定用カウンタ101、不揃い図柄決定用カウンタ102による上記乱数取得がなされる。そしてステップcにて大当たり決定用乱数として取得された乱数が判定され、「136」または「451」であった場合はステップdにて大当たりフラグ「1」がセットされ、そうでなかった場合はステップeにて大当たりフラグ「0」がセットされステップhに移行する。

40

【0012】

また、ステップdにて大当たりフラグ「1」がセットされた場合はステップfに移行して図柄停止パターン決定手段103による図柄停止パターンの決定がなされる。該図柄停止パターン決定手段103は、抽選によって図柄変動表示器に停止図柄が各表示列とも同一

50

となる表示をするか、或いは、停止図柄が各表示列とも同一とならない表示をするかを決定するもので、9 / 10の確率で同一となる表示が選出されてステップgに移行し、1 / 10の確率で同一とならない表示が選出されてステップhに移行する。

【0013】

ステップgでは上記揃い図柄決定用カウンタ101の決定による揃い図柄が用意され、ステップhでは上記不揃い図柄決定用カウンタ102の決定による不揃い図柄が用意される。そしてステップiにて図柄変動表示器2に1～8の数字および等の記号またはキャラクター等からなる12種類の図柄を3列にて上から下に流れる如くに変動表示させ、その数秒後に左列、右列、中列の順でその変動表示を停止させる。そしてステップkにて大当たりフラグを判定し大当たりフラグに「1」がセットされていた場合はステップlに移行し可変入賞装置7の開閉扉をソレノイド24の作動により継続的に開成状態とし、継続入賞口9への入賞を条件として第16ラウンドまで繰り返し該可変入賞装置7を開成状態とする大当たり動作をして終了する。また、大当たりフラグに「0」がセットされていた場合はこのような大当たり動作をすることなく終了する。

10

【0014】

このようにこのパチンコ遊技機では、大当たりフラグに「1」がセットされていても図柄変動表示器に図柄変動後の停止図柄として1 / 10の確率で不揃い図柄が表示され、不揃いであるにも拘わらず大当たり動作がなされることから、遊技者は驚き喜びも倍増する。即ち、通常は不揃いであることから失望するところであるが、このパチンコ遊技機では時としては一転して大当たり動作がなされることから非常に大きなインパクトが与えられる。従って、遊技者にはリーチ状態とならなかったとしてもいつ何時大当たりが来るかわからないという期待感が常にもたらされるようになり、従来のような無駄時間をなくすることができる。

20

【0015】

【発明の効果】

このように本発明のパチンコ遊技機は、図柄変動表示器に表示される各表示列の停止図柄が同一でなかった場合でも適宜確率で大当たりが発生するようにしたので、遊技者に突然の大当たり招来による大きな喜びが与えられ、この種のパチンコ遊技機であった無駄時間がなくなるとともにマンネリ化が打破され、パチンコ遊技の興趣を一層増大させる顕著な効果がある。

30

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るパチンコ遊技機の遊技盤の実施形態を示す正面図。

【図2】本発明に係るパチンコ遊技機の実施形態を示すブロック図。

【図3】本発明に係るパチンコ遊技機の実施形態を示すブロック図。

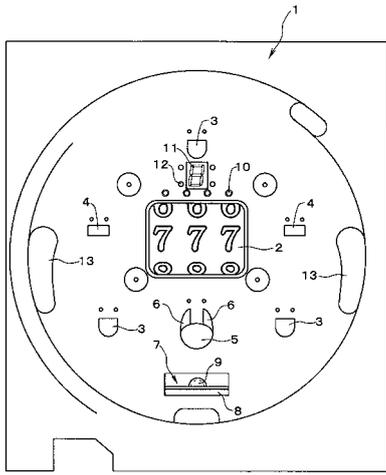
【図4】本発明に係るパチンコ遊技機の実施形態を示すフローチャート。

【符号の説明】

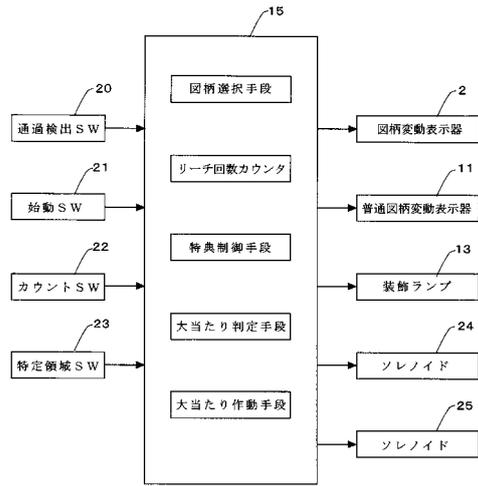
- | | |
|---|---------|
| 1 | 遊技盤 |
| 2 | 図柄変動表示器 |
| 5 | 始動口 |
| 7 | 可変入賞装置 |

40

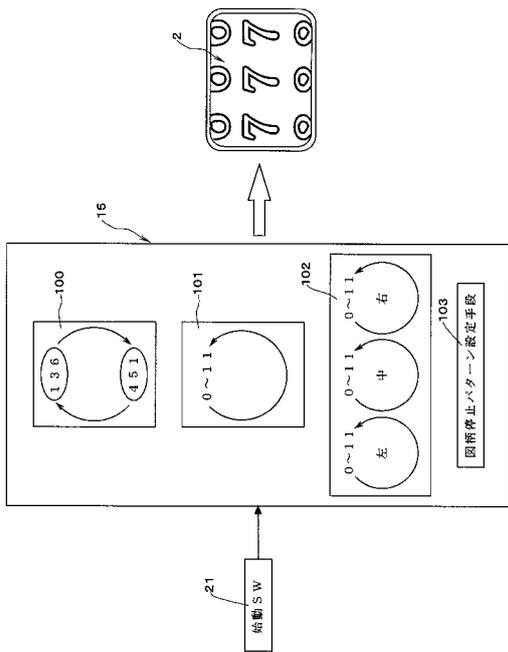
【 図 1 】



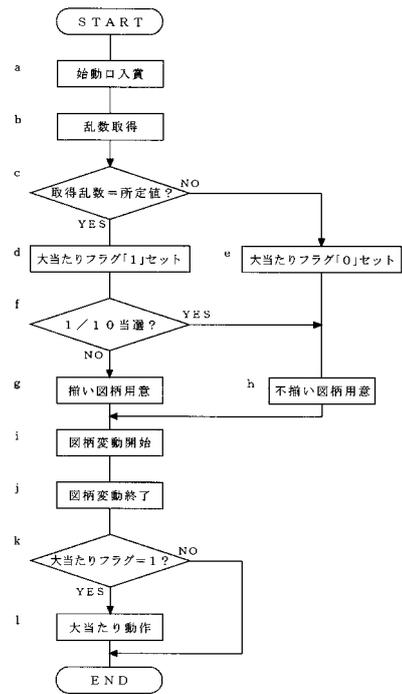
【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B名)

A63F 7/02